シルバー
ところざわ

◆発行 社団法人 所沢市シルバー人材センター 1992 No.41 11月号

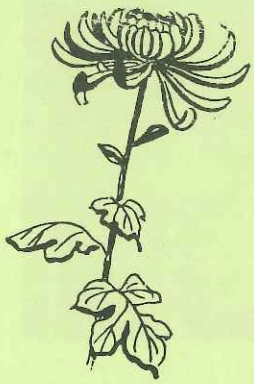
会員増強運動目標突破の金字塔樹立 !!

理事長 高 橋 義 男

九月いっぱいをタイムリミットとして、全組織をあげて取り組んだ会員増強運動は、新所沢地区長生クラブ連合会等友誼団体の強力な御協力を得て、９月30日締切で639名という、望外の成果を挙げて一応の集約を果たしました。

この結果、向こう一年間にわたってこの会員数が600名を下回らない限り、既に固定している、平成３年度の、月別平均稼動延人員4,800名（基準は3,500名以上）に併せて、念願のＡクラス入りが認められるわけであります。すでに浦和、川口、草加、狭山の各市が先行Ａクラスであるが、一呼吸遅れながらではあるが肩を並べるわけであります。

本年５月末の総会後、会員増強運動が提唱され、その具体的な実施機構としての事業部会が設置され、本部会長に池邊理事（長生クラブ選出）、会員増強部会に兼松理事（所沢地区）、就業部会に北田理事（商工会議所専務理事）がそれぞれ責任者として、当面の目標を９月中に600名超の猛運動に取り組み、ポスター、市広報、自治会組織の協力による約１万世帯に向けての回覧文書の配布など、従来の宣伝方法に取捨選択を加え、全員が熱心且つ強力に努力を積み重ねて行ったが、それぞれに効果を発揮し、上述のような成果をかち取ることができました。特に大野事務局長をはじめ事務局員の活動は特筆に値する。



また各地区懇談会では地区委員を先頭に、それぞれに工夫をこらし、積極的に取り組んでいただき、地域地域の特徴をにじませながら、本部要請に応えて、年度会議を８月、９月中に集中的に開催、目的達成の原動力となった。結果は、目標を３倍以上達成した地区をはじめ、２倍に近い地区など、二桁を超えた地区は五指に余った。また会員中には、その個人的活動の成果として瞠目に値する寄与を記録した人など、全組織躍動の歓を呈したことは為せば為るの自信をかち得ることができました。ここに各方面、各位の御協力、御尽力に深甚なる謝意を表して御報告といたします。

会員研修旅行に参加して

小手指地区　笹　尾　六　子

この九月、主人からシルバーの会員増強のお話を聞かされまして、入会致しました。そして、夫婦二人であつかましいかなと思いながら、早速、旅行も申し込んでお許しを得ました。はじめ、何の研修をする旅行だろうかと、不審に思いましたが、あとで、なる程と私なりに思いあたりました。

主人も私も、バス旅行は大好きで、今回の行程や見学場所も、殆んど知った所でしたが、

いろんな面で、一般の旅行会社の主催するものとは、一味違うことを感じました。

バス二台のうち、私達は二号車でした。高橋理事長と山川次長が同乗して下さいました。山川さんは、我が家に数回おいでになって存じ上げておりましたが、真面目なお方で、相変らず、こまめにお世話をして下さいました。高橋さんは新しい理事長と聞きましたが、かなりお年を召していらっしゃるようで、少々おぼつかない思いをしていましたところ、その立派なご挨拶を聞いたとたんに、これは人物、有言実行誠実型、とお見受けして、頼もしく感じました。

個々の見学場所をたどってみましても、別にどうということもございませんので、省略させて頂きますが、ただ、二宮尊徳記念館だけは印象が強く、今迄知らなかった史実を知り、色々と勉強になりました。これは、まさに研修旅行そのもの？　でした。

さて、はじめに申しあげました、一味違うということの一例をあげましょう。明徳寺にお参りした時、あの急な坂道を、全員がぞろぞろと続いて、平気な顔で登られました。歳はとっても、さすがお仕事をなさっている方達！　これには感動しました。他のバス旅行では見られなかったことです。

和気藹々とした車内の団欒ムードは勿論のこと、この度の旅行は、私にとって、すべて、よき人間関係を知る研修旅行でした。

安全推進委員として認識を新たに !!

安全就業推進委員　小井沢　昂　治

会員の皆様方には益々御健勝の事とお察し申し上げます。さて、この度不肖、会員の安全就業推進委員に委嘱されまして、その重責を痛感致しております。

先般、事務局のお計らいで委員が構成されまして、村松委員長の基に委員会が開催され、種々の面において安全に就業されますように、対策を構じつつあります。安全とは申すまでもなく怪我をしないこと、又、他の人にも怪我をさせないように心掛けることが肝要とされます。しかし、如何に策を構じようとも、皆様方一人ひとりの御協力が得られなければ、災害を無くすことはできません。一歩足を表へ踏み出すと、車、又車の社会で慌ただしい毎日であり、交通戦争とも言われる今日であります。歩行中の考え事、自転車乗車中の脇見、見通しの悪い交差点等で、「ハッと」「ヒヤッと」した体験も多々あります。非常に危険な行動であったと思います。例え歩行者・自転車と言えども、楽観はできません。「注意一秒怪我一生」とも言われます。特に通勤途上におかれましては、余裕時間を掛けて、お互いに初心に戻って交通道徳を守って安全な通行に心掛けましょう。当センターの運営には、種々人材職員がおられますが、その中で炎天下にて除草作業をさられる人、真夏、寒中を問わず、植木の剪定作業を行っておられる方、皆さんの人間関係も良く、今日貴重な人材の方々がおられます、作業の中で高所作業を始めとして、作業能率を高める文明の機器類を使用さられておりますが、安全に機器類を使用して頂くには取り扱い方を良く熟知して頂き、又、作業前に必ず点検・整備を行うように努めて頂きたい。安全に作業を遂行される故の「鉄則と言われます」高所作業におかれましては、脚立類は足場の安定に注意されまして、墜落等のないように心掛けて頂きたい。数少ない貴重な方々でありますので、今後共安全に働いて頂き、末永く定着して頂けるように、センターとしても望んでおります。

私もセンターのトラック運転者として、作業者の資材搬入で市内末端から末端へと走行しておりますが、更に認識を新たにして、安全運転に専念し、会員皆々様と共に、災害・事故のない明るいセンターとして、第二の人生を大切に楽しい日々を送りたいと思います。

会員安全就業推進委員会会報

センターの事業推進と会員の安全就業の為に、安全委員会が設置されたことは、前９月号の〝シルバーだより〟によりお知らせしてありますが、同委員会の概要と今後の活動について、下記とします。

記

○会員安全就業推進委員会事業活動計画

○会員安全就業推進委員役割分担

以上、基本計画を基に委員会は活動して、センターの事業推進と会員の安全就業に努めます。

尚、今年に入ってから、センターの安全就業に関しては、違憾ながら、委員会の活動方針の〝災害０目標〟に反して、すでに11件の事故発生をみており（平成２年度15件、３年度14件)、この調子で進むと更に多くの事故が懸念されて、前年度を上回ることが予想されます。

この事故発生の原因を探究すると、ほとんど本人の不注意に基因して発生しており、会員の事故の防止については、再三に亘って、その策として参考防止資料を配布して、事故の未然防止を喚起していますが、なんと言っても個人個人が安全就業の意識を常に堅持して、就業前の準備を周到にして事故の無い様に心掛けることが第一です。性急・無造作な器具の扱い、その他不注意による事故の発生のないよう特に留意して下さい。

追って、仕事に出掛ける前には、配布された諸資料（参考）を熟読して、(交通安全等々）また会員の守るべき〝安全就業基準〟に則って、就業するよう特に注意を喚起します。

尚、会員の方で、就業中、その他事故発生の場合には、可及的速やかにセンターへ連絡して下さい。

センターに入会して

松井地区　**新　井　満　子**

婦人部長さんに勧められ今回入会いたしました。始めて人材センター会員の方々と（希望者）、北海道旅行に参加いたしました。15名で、大変楽しく３泊４日の旅が出来ました。大勢の会員の一部の方々でしたが、それぞれ生甲斐と申しますか、年齢に関係なく、進んで仕事に励んでいられるご様子を、先輩の方よりあの方は駐車場の車の整理、あの方は何々

と、若い人達と異なり華やかな仕事ではないが、シルバーに適した事を責任をもってやっていらっしゃる事を聞き、人材センターに入会したことを喜んでいられるということが解りました。

まだ暑さの残る９月のある日、所用で松井公民館に参りました。男の方は庭の手入れ、女の方は館内の掃除と汗いっぱいかきながらニコニコ働いている明るいお顔を拝見し、年金で余裕ある老後が理想ですが、やはり、健康で元気な間は働いて体を動かす事がますます心豊かな老後に結びつく感じがいたしました。

理事長様はじめ幹部の皆様方は、仕事の紹介、その他講習会等々、お仕事の累積で大変と推察申し上げます。どうぞ御健康でご活躍くださいます様御願い申し上げます。私も丈夫になりましたら、よろしく御願い申し上げます。

事務局だより

婦人部会

介護研修＝康寿支援センター主催介護教室（第一回～第六回）に十五名（男二名）の会員が参加受講。

健康体操＝旧庁舎地下長寿苑で高齢者向きの健康体操の実施。

講　演＝十月九日旧庁舎四〇二会議室において所沢保健所予防課長山田努先生による骨粗鬆症について講演開催

安全就業推進委員会＝七月二十七日・九月二十一日の二回に亘り委員会が開催され、次の様な事が決定された。

・会員就業状況を巡回訪問、安全就業を指導する。
・二月十五日（配分金支払日）安全研修会の実施。

事業部会＝八月二十七日・九月十八日の二回に亘り部会が開かれ、会員増強・就業開拓について検討された。

十月二十四日(土)二十五日(日)両日、航空公園で開催された市民フェスティバルに参加。おでん・不用品・手芸品の販売、チラシの配布等、理事長始め役員・女性会員・事務局職員が積極的にＰＲに努めました。ご協力ありがとうございました。

会員の努力の成果

月	会員数	受託件数	就業人員		契約金額			
			実人員	延人員	配分金	事務費	その他	計
8	514	136	278	4,841	18,413,124	1,232,062	369,490	20,014,676
9	639	145	278	4,820	18,498,164	1,210,067	418,981	20,127,212
10	656	121	289	4,988	19,811,137	1,378,859	360,484	21,550,480

今後の活躍を期待します。

お知らせ板

- ◆ 平成５年２月１日から毎週土曜日が休日となります。
- ◆ 会員新年懇親会を平成５年１月18日（月）午前11時より旧庁舎402・403会議室で開催しますので、希望者は会費1,000円を添えてお申し込み下さい。締切１月８日（厳守）
- ◆ 就業安全研修会を平成５年２月15日（配分金支払日）午前９時30分より旧庁舎402・403会議室で行いますので、多数ご参加下さい。

平成４年度会員研修旅行の結果

収入		支出	
会費 18,000×61（理事長含む）	1,098,000	大和館宿泊・宴会費	787,928
職員分 8,000×3	24,000	昼食代（２日分）	172,080
高橋理事長より	10,000	車内まかない	56,800
山本綾子副理事より	10,000	伊豆洋らんパーク入場料	42,900
岡崎喜久雄会員より	10,000	尊徳記念館見学料	9,750
前回繰り越し	15,204	有料道路及び駐車料	35,560
		旅行傷害保険代	13,400
内山、鈴木会員より 酒		フィルム代	1,400
兼松理事より 宴会の際の福引き		写真現像代	2,600
小谷野会員より 車内菓子・酒		土産代	1,000
山川会員より 酒		乗務員心づけ	16,000
合計（A）	1,167,204	合計（B）	1,139,418

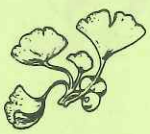
※バス借上料（二台）391,400円 …… センター負担

1,167,204（A）－ 1,139,418（B）＝27,786

残金27,786円は次回へ繰り越し致します。

編集後記

皆さん、お元気で新しい年をお迎え下さい。
原稿をお待ちしております。



頭の体操「みんなで考えてみましょう」

	5	4	3	2	1	
			歩	玉		一
						二
						三
			金			四
						五
						六
						七
						八
						九

持ちゴマ 香、歩四

大道詰将棋の基本形で、十五手詰です。二手目が問題です。